

全模研の先生方へ

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？

コロナ感染はまだまだ予断を許さないものの、  
各校とも徐々に平常授業に向けてのステップアップの時期かと思われます。

さて、表題にある通り、  
昨日朝日新聞夕刊に AJEMUN のオンライン模擬国連に関する記事が掲載されました。  
既にお読みになった方もいるかもしれませんが、  
記事の PDF を添付しますので、ぜひご一読ください。

この記事は私がある文章を投稿したことがきっかけで取材を受けたものですが、  
記事の内容は投稿意図とは異なっています。  
最初の投稿文については、全模研の先生方へもぜひお伝えしたい内容でした。  
添付しますので、こちらもご一読いただき、私の投稿意図をくみ取っていただければ幸いです。

コロナ禍によって模擬国連活動は多大な影響を受けました。  
投稿文ではそのような中でも、高校生がアイデアを絞って活動を続けたことを強調したつもりです。  
加えてオンライン活動が今までにない形で広がり、  
模擬国連活動のみならず、高校生の自主活動そのものが変革する可能性があることを訴えたかったのです。

以上の通り、記事は私の意図しない形での掲載でしたが、  
AJEMUN を全国的に周知することになったので結果オーライと言えるでしょう。

この状況でオンライン大会が隆盛になってきたとはいえ、  
やはりリアルな大会が本質ではないかと思っています。  
そうは言ってもオンラインのメリットも大きいことが今回よくわかりました。  
今後は記事にあるようにいいところ取りしたハイブリットな形に必然的になっていくことでしょう。  
それに伴って、ひょっとしたら新たなルール作りが必要になるかもしれません。  
その際には全国の全模研の先生方のお知恵を拝借する場面もあるかと思われます。  
ぜひ先生方の実践や工夫を共有して、  
今後も模擬国連活動を活発化させていきたいと考えています。  
ぜひよろしく願いいたします。

別件で先日お伝えした、第4回全国高校教育模擬国連大会（AJEMUN）の**生徒実行委員の  
応募締め切りは7月22日（水）**です。

また応募書類は現在第3回大会のHPからダウンロードできます。  
（第3回大会HPは第4回大会HPが完成次第移行します）

なお、大会参加者（大使）の募集は9月下旬を予定しています。  
その際はまたご案内をお送りします。

以上、よろしくお願ひします。

全国中高教育模擬国連研究会 代表  
米山 宏